

平成31年度 埼玉県・さいたま市 教員採用試験対策講座 日程表 【通学部】

●日程が変更になった場合は最新版と差し替えてください→H28/8/13付

メイン会場：彩の国すこやかプラザ			日程	1限目 13:20 ~ 14:40	休憩	2限目 14:50 ~ 16:10		
ステップ1 基礎力強化	11	26	日	★人権教育・特別支援教育【実践問題と解説】 ～演習と解説～ 人権教育及び特別支援教育の頻出内容について、実践問題を通じて学ぶ。解説では、それぞれの分野の重要事項について、文部科学省の答申・資料等と関連づけながら学習する	◎	◇特別支援教育 ～重要事項の確認～ 過去の出題問題などを中心に、教員採用試験で問われる内容を確実に理解する。また、最新の動きを確実に掴む。		
	12	17	日	◇教育法規① ～教育法体系の基本的理解と近年の法改正～ 日本国憲法から各種学校教育に関する施行令・施行規則まで、教育に関する法規の基本的な体系と近年の教育関連法規の改正について学習する	◎	■論文指導② 個別指導含む ～教員採用試験の論文の実践～ さらに自分の論文を見直し、試験に合格する論文力を高めよう		
	1	14	日	★教育法規②【実践問題と解説】 ～演習と解説～ 教育基本法をはじめとする教育法規の基礎・基本について、実践問題を通して実力の確認を行う。解説では、各法規の頻出条文・重要事項についても確認する	◎	■面接指導②<集団面接・集団討論を中心に> ～課題演習～ 面接試験において、試験官がどのような点について見ているか、また、評価の観点はどうなるのかを知り、実際に課題面接の演習を交えながら学習する		
	2	25	日	★教育史・心理【実践問題と解説】 ～演習と解説～ 教育史・教育心理の頻出内容について、実践問題を通じて学ぶ。解説では、各分野の重要事項についてポイントを押さえながら学習する	◎	◇教育心理 ～発達理論・学習理論等の重要事項を中心に～ ピアジェやフロイトなどの最重要人物の理論や、性格・知能検査、学習理論等の教育心理に関する重要事項を学習し、試験で確実に得点することを目指す		
	3	11	日	◇教育時事・答申① ～学校教育における今日的課題～ 学校の安全・危機管理、キャリア教育、情報教育、学力向上等、近年注目されている教育課題について、関連する答申・通知を中心に重要事項を押さえる	◎	◇教育史<2/25の「演習問題」を持参すること> ～重要人物・事項の確認～ 西洋教育史における重要人物の歴史的取組や、日本における教育制度・教育改革の流れなど、教育史で問われやすいポイントを整理し、確実に得点できるようにする		
			日程	1限目 11:10～12:30	休憩	2限目 13:20 ~ 14:40	休憩	3限目 14:50 ~ 16:10
ステップ2 実践力	4	8	日	■学習相談・意見交換 現在の学習方法や学習の進捗状況等、自分自身の状況を確認すると共に、4月から試験までの学習計画について決意を新たに、試験直前まで迷わず学習できるようにサポートする	◎	◇論文指導③ ～論文の書き方指導～ 論文作成の基礎・基本を踏まえ、論文の作成・推敲を行い、採用試験に合格するための実践力を養う	◎	★論文演習【講座内論文②】 ※次回4月の論文講座で指導 必ず提出
	4	15	日	★全国模擬試験① 80分(教職・一般)	◎	◇一般教養国語① ～文学史について～ 日本・西洋文学史、有名作品の冒頭とあらすじ等、教員採用試験の頻出内容について学習する	◎	◇面接指導③<個人面接を中心に(場面指導を含む)> ～課題演習～ 面接試験において、試験官がどのような点について見ているか、また、評価の観点はどうなるのかを知り、実際に課題面接の演習を交えながら学習する
	4	22	日	◇一般教養社会① ～地理・歴史～ 日本地誌(特産品、県の特徴)、貿易(相手国・品目)、地図(地図記号・縮尺・時差)等の地理分野や、江戸時代、明治時代、日本文化史等、歴史分野の最重要事項について集中学習	◎	◇一般教養芸術 ～過去の出題傾向を把握し、重点事項を押さえる～ 出題される可能性の高い問題について、芸術や音楽などの分野を中心に学習を行う	◎	◇一般教養社会② ～公民～ 国際関連、国会・内閣、経済・金融(金融政策)等、公民分野の最重要事項を学習
	4	29	日	◇一般教養国語② ～語句について～ 熟字訓・四字熟語・慣用句・ことわざ・同音異義語・敬語等、頻出の内容について学習する	◎	◇自己申告書の書き方指導、自己PR指導(13:20～14:30)	◎	■論文指導③ 14:40～16:10個別指導含む ～教員採用試験の論文の実践～ 自分の論文を見直し、自分自身の良い点、直さなければならない点を把握する
	5	6	日	◇一般教養理科① ～物理分野・化学分野～ 電流・運動・光などの物理分野や、気体・水溶液の性質などの化学分野を中心に、混同しやすい内容を正確に身につける	◎	★生徒指導【実践問題と解説】 ～演習と解説～ 生徒指導の基本事項や、いじめ・不登校の現状や課題、それに対する指導・取組等について、実践問題を通じて学習する。解説では、生徒指導に関する答申・通知等を取り上げながら、各資料のポイントについても確認する	◎	◇生徒指導 ～生徒指導の基本的理解と問題行動への対応～ 生徒指導の意義・目的などの基本的な事項について学び、いじめや不登校などの児童生徒の問題行動に対する具体的な指導・取組等について理解する
	5	13	日	◇一般教養理科② ～生物分野・地学分野～ 植物のからだのつくり、細胞などの生物分野や、太陽や星の動き、地層などの地学分野を中心に学習する	◎	■面接指導④ ⑤<集団討論・集団面接(必要に応じ個人面接)>13:20～16:10 ～実践演習～ 実際に実践形式で面接を受ける中で、自分自身の問題点は何か、どのように改善すれば好印象となるか等について体験的に理解する	◎	
	5	20	日	◇一般教養英語 ～語法・熟語、重要構文を中心に～ 熟語・慣用句等、試験で問われやすい英語表現や英文法の重要ポイントをしっかりと押さえる	◎	◇教育法規③ ～教育法規のまとめと最終チェック～ 最近の法改正を含め、問われる可能性の高い重要ポイントについて最終まとめとチェックを行う	◎	◇埼玉県ローカル問題 ～面接試験でも問われる埼玉県の基礎知識～ 学院テキスト「埼玉県ローカル問題集」を使用し、埼玉県の地理や歴史、自然、産業、教育行政、伝統芸能・文化等について幅広く学習する
ステップ3 直前対策	5	27	日	★全国模擬試験② 80分(教職・一般)	◎	◇さいたま市 教育行政施策 ※受験地区に関わらず全員参加 さいたま市が近年行っている教育に関する重要施策について、文部科学省の取組に触れながら体系的に理解する	◎	◇埼玉県 教育行政施策 ※受験地区に関わらず全員参加 埼玉県が近年行っている教育に関する重要施策について、文部科学省の取組に触れながら体系的に理解する
	6	10	日	◇一般教養数学① ～計算問題～ 式の計算や平方根、確率を中心に、計算分野で確実に点数が取れるよう学習する	◎	★教育課程①【実践問題と解説】 ～演習と解説～ カリキュラム・教育方法等の基本事項や、学習指導要領の改訂内容など、教育課程の重要事項について実践問題を通じて学ぶ。解説では、頻出となっている学習指導要領を中心に、改訂のポイント等について確認する。	◎	◇教育課程② ～新学習指導要領「総則」を中心に～ 平成29年3月の改訂により、今までの学習指導要領とどこが変わったのか、そのポイントは何か、新しい「総則」を中心に学習を行う。
	6	17	日	◇一般教養時事 ～近年の時事問題～ 筆記試験だけでなく面接試験でも必ずといってよいほど問われる社会問題、環境問題、政治・経済等の近年の時事問題について学習する	◎	★教育時事・答申【実践問題と解説】 ～演習と解説～ キャリア教育・情報教育・安全教育等、近年注目されている教育課題について演習問題を通じて学習する。解説では関連答申・通知等のポイントについても整理する	◎	◇一次試験前の総まとめ ～教育時事・答申②～ ～今夏の試験に向けての最重要事項～ 数ある教育課題の中で、特に今夏の教員採用試験で問われてくる可能性の高い教育課題について、最新の答申等により学習する
	6	24	日	◇一般教養数学② ～図形・関数を中心に～ 平面図形、円・球に関する問題や、関数・グラフを用いた問題で確実に得点できるように学習する	◎	■面接指導⑥ ⑦<集団討論・集団面接(必要に応じ個人面接)>13:20～16:10 ～実践演習～ 実践形式による演習を重ね、課題の確実な改善を行い、本番に備えての最終ポイントを確認する	◎	

※会場・日程・内容につきましては変更になる場合があります。

※面接指導は見学できる形式での指導になります。※通信添削の論文が7回ありますので、論文に力を入れたい方は通信講座を併せて受講することを推奨しております。

※講座内論文の添削は1題につき1回のみです。

二次試験直前対策講座 ※通学受講生で一次試験合格者は、二次試験対策に特別受講料で参加できます。別途受講料が必要になります。		
8	初旬	<p>予定対象者 埼玉県高校・特別支援教育 さいたま市 二次受験者</p> <p>11:10スタート～16:10 ■二次試験直前対策 <集団討論、模擬授業指導、個人面接、場面指導、集団面接> ※ 論文指導は時間がかかることから二次対策では扱わない予定です。</p>

二次試験直前対策講座 ※通学受講生で一次試験合格者は、二次試験対策に特別受講料で参加できます。別途受講料が必要になります。		
8	下旬	<p>予定対象者 埼玉県小学校・中学校 養護教諭・栄養教諭 二次受験者</p> <p>11:10スタート～16:10 ■二次試験直前対策 <集団討論、個人面接、場面指導、集団面接> ※ 論文指導は時間がかかることから二次対策では扱わない予定です。</p>

※実施試験内容次第では、カリキュラムの見直しを行うこともあります。なお、受講生の皆様には決まり次第お知らせします。予めご了承ください。